valgrindは実行時メモリチェッ(略

ψ（プサイ）

@tikal

ledyba.org

人間界での所属

東大
農学部
獣医学科

↓転学部↓

東大
理学部
地球惑星物理学
科

「えっ何やるんです
か？？？」

天気

地震

FORTRAN77

前学科長が

元参議院議員

東京大学大学院教授
ロバート・ゲラー

東大教授
ロバート・ゲラー

ツイ廃
@rjgeller

つらい

東大ニコ研
(略称：UNKO)

創設メンバー

ニコ動
再現・保存ソフト
「さきゅばす」

未踏2012
スーパー(笑)
クリエイター(笑)

言語とか
作ってます♡
http://donut-lang.org
github/ledyba/Akomachi
github/Saccubus/Saccubus

というのは

全部

嘘

本当は

魔法界から来た

10万
10歳の

魔法使い
見習い

ほ…っ

ほんと
だもん！

であと
格好

いなり、こんこん、
恋いろは。

コンちゃん

は？
こんなキャラ
居た？？

OPで
0.5秒
出てくる

背景も
伏見稲荷大社
＠京都
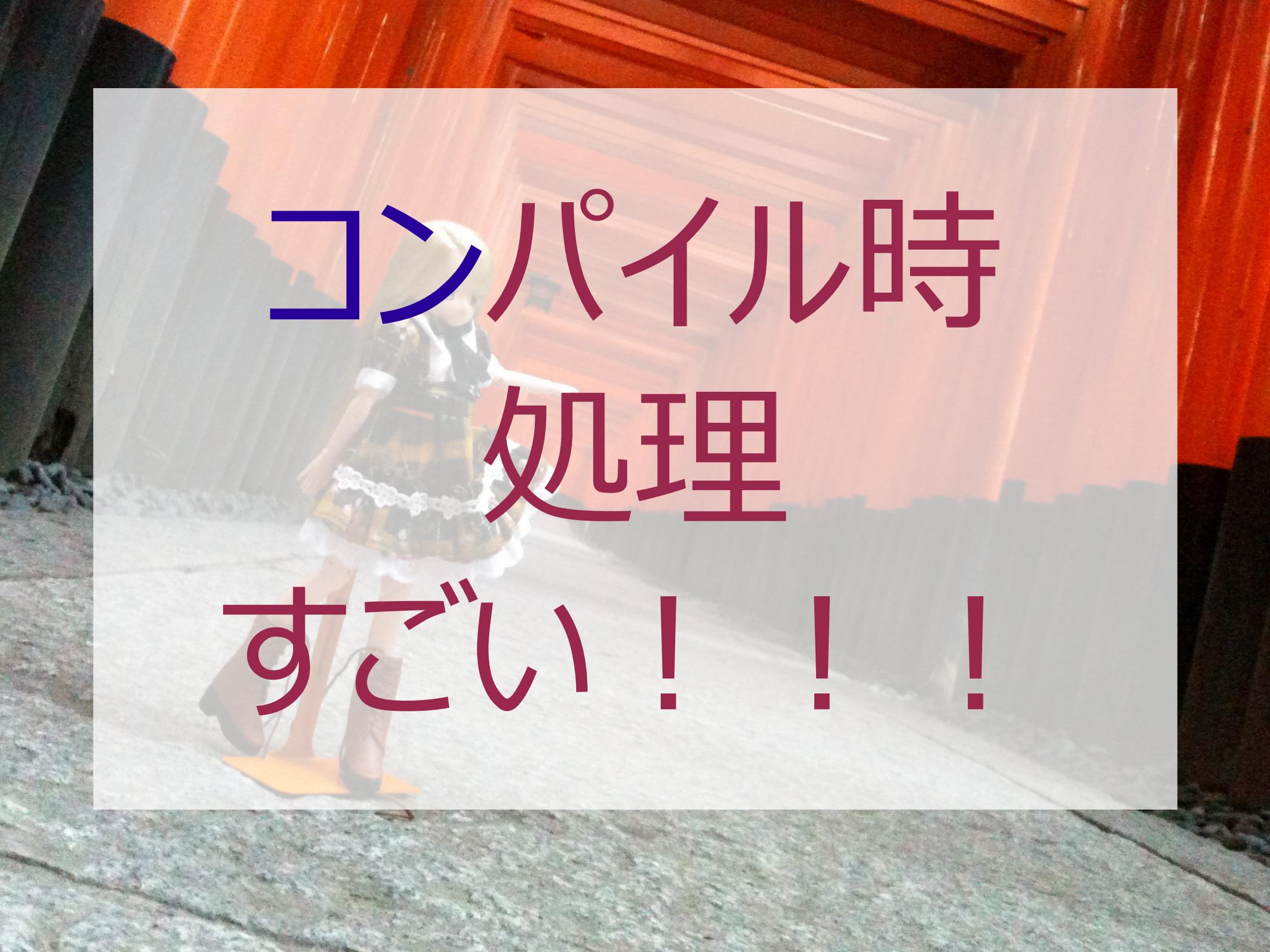
本題します

コンパイル時
処理
すごい！！！

メタプログラミング
すごい！！

キャー素敵！！
抱いて

ごめんなさい

いもとようこ

悲しい
お知らせが
あります

コンパイル時
処理

だけでは

なんと

なんと

なんと

人人人人人人人人人
＞実用アプリ作れない＜
 Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y^Y

突然 興奮する患者

現実世界に
生きる我々

実行時からは
逃れられない！

そして
付き纏う

実行時エラー
という
"""怪談"""

これは
本当に
あった
話です

四谷怪談

新東宝特作

曰く、

怪談
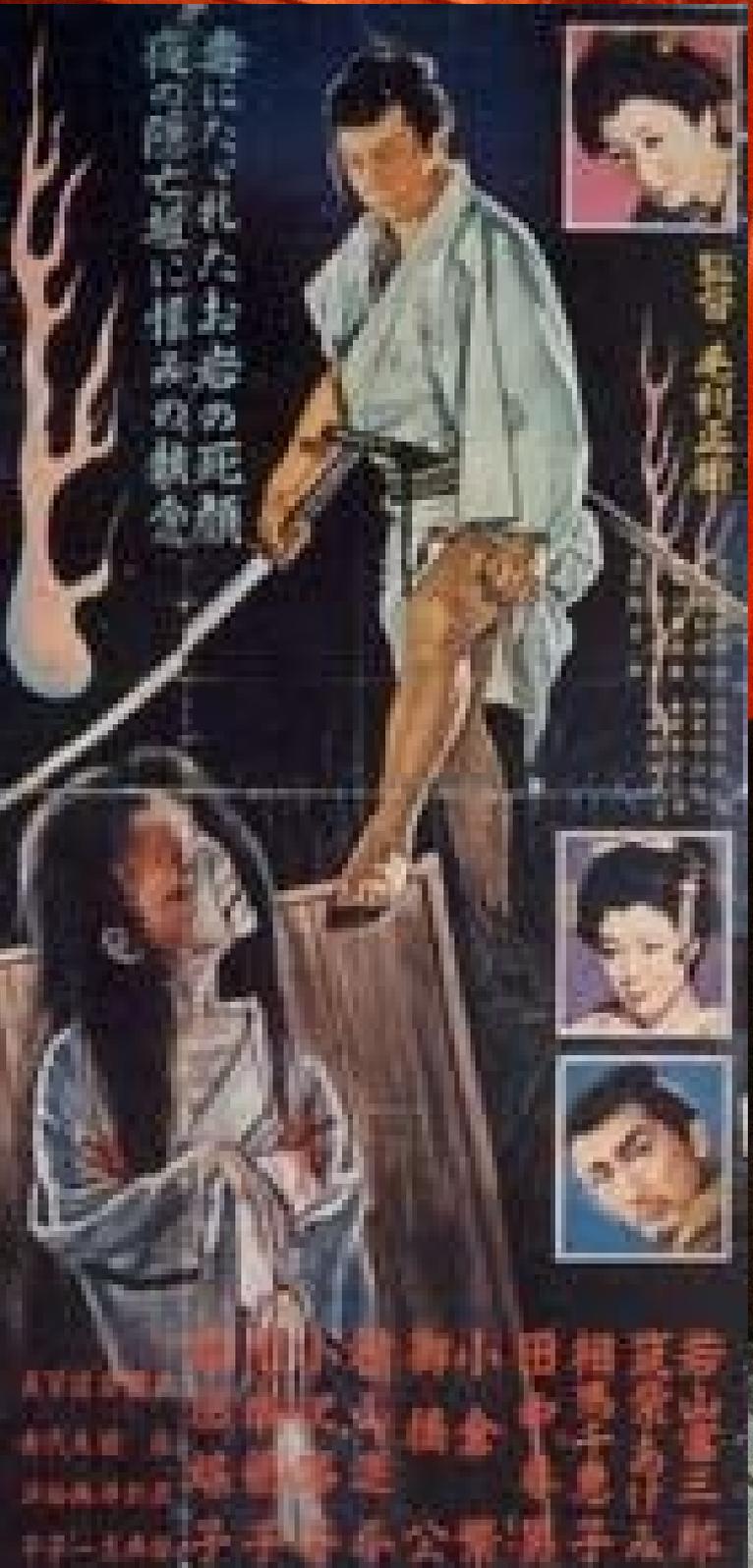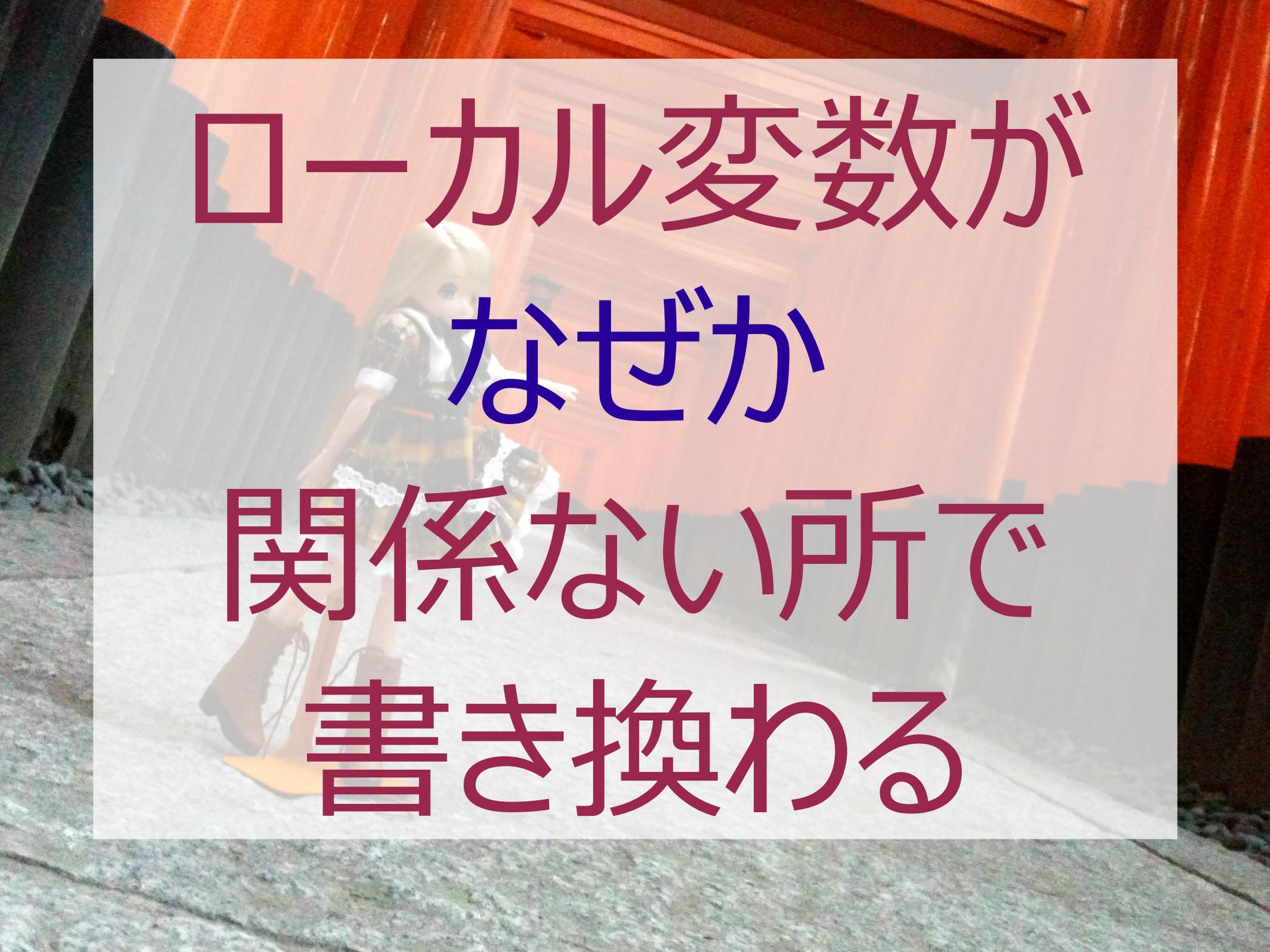
ローカル変数が
なぜか
関係ない所で
書き換わる

曰く、

関数から
リターンする瞬間
クラッシュ

曰く、

new T()
しようとした瞬間
クラッシュ

曰く、

ねないこ だれだ

せな けいこ さくゑ

メモリーリークが
どこか
さっぱり分からない

日く、

オブジェクトが
知らない所で
deleteされてた

人生を
あきらめない

実は
SIGSEGVで
落ちる分にはラク

SIGSEGVで死

⇒

SIGSEGVで死
⇒
そこがバグの本丸

そこを
念入りに調べれば
大体直る

でも

怪談バグ
is
よくわからない

原因と
結果が
離れている！

どないすねん

事前にしっかり
確認しましょう。

最終兵器
アセンブラ

gdb -S
odjdump -D
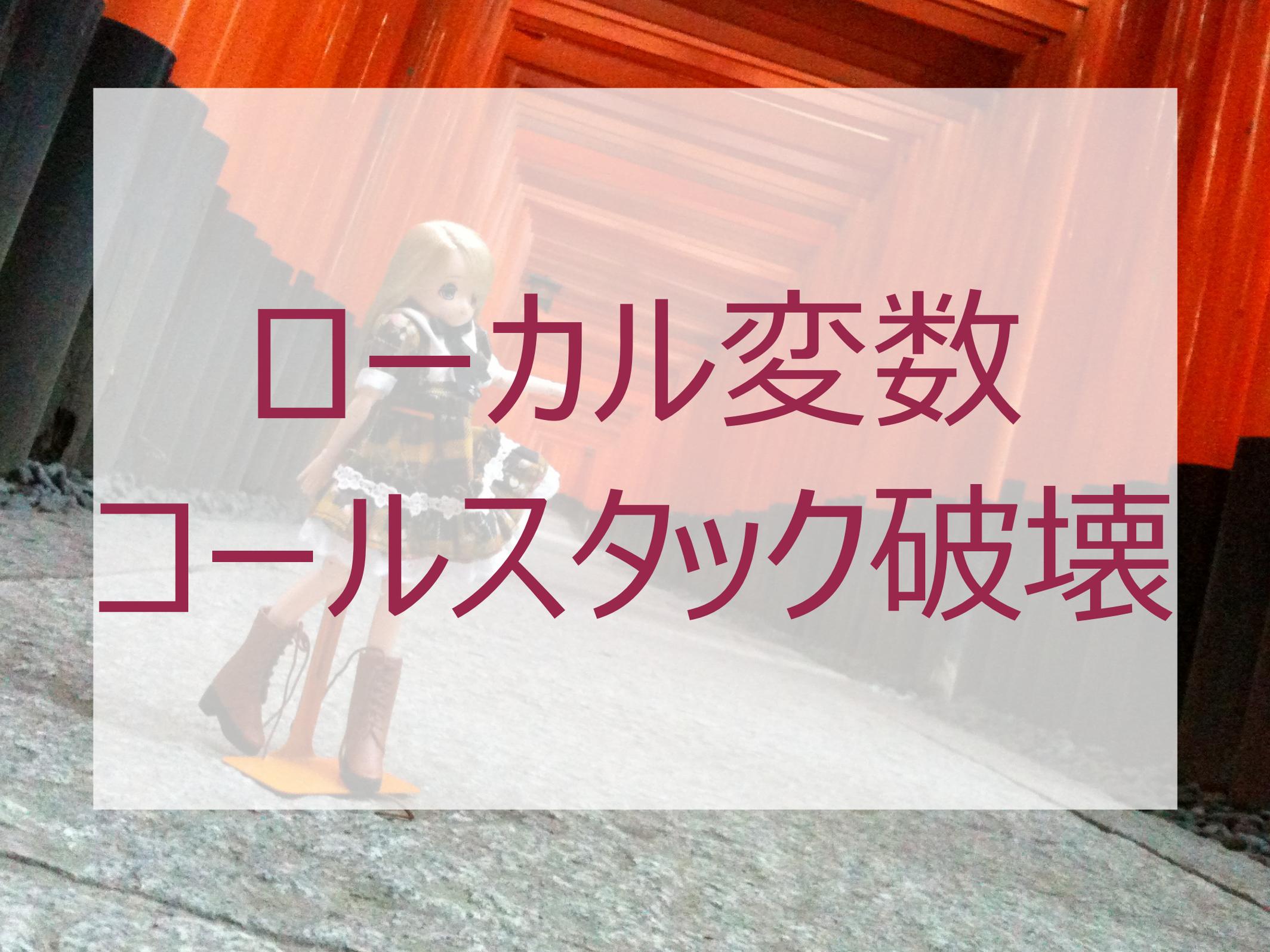
ローカル変数
コールスタック破壊

ローカルな
変なバグは

最悪

アセンブリ読めば
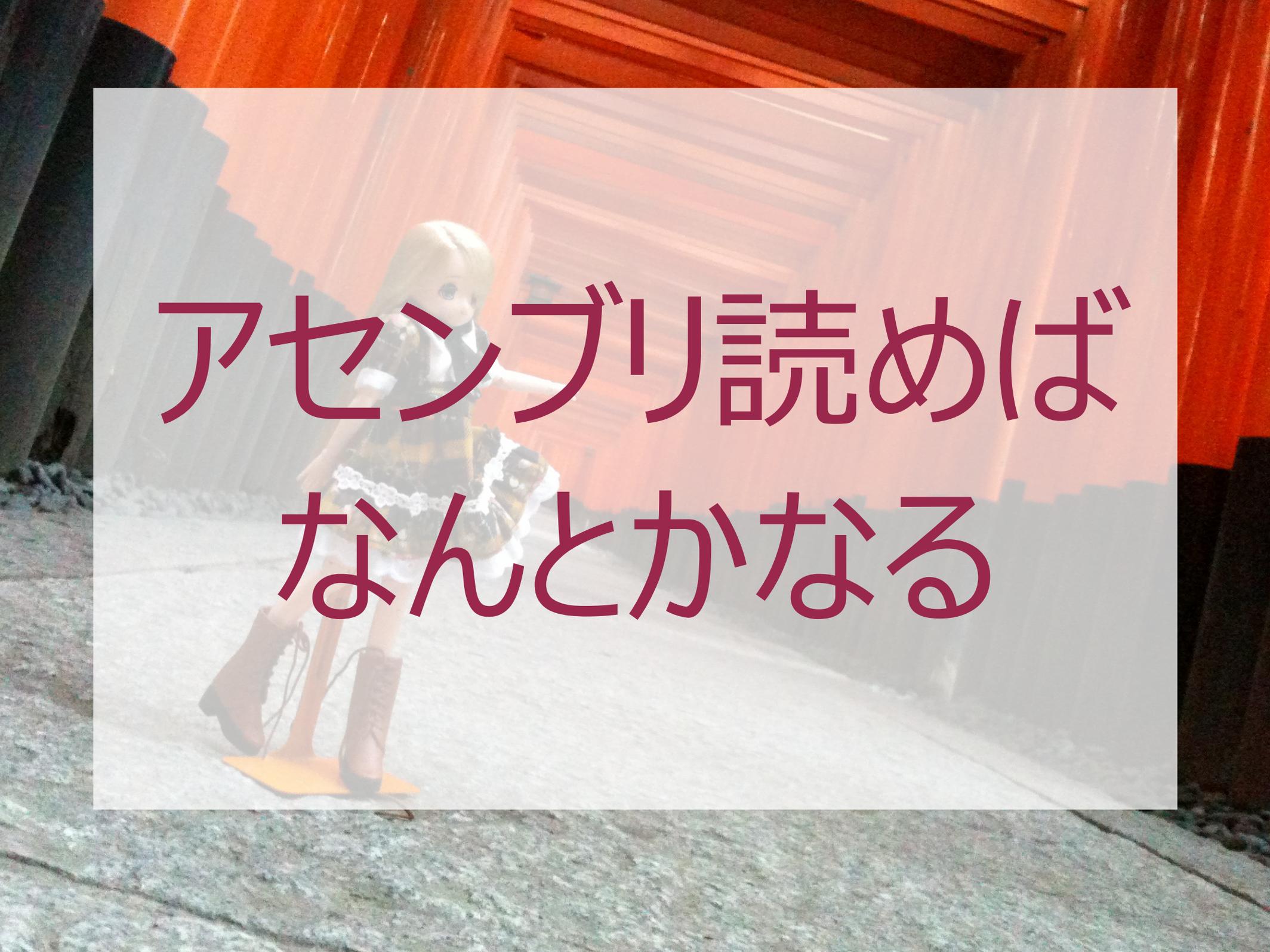
アセンブリ読めば
なんとかなる

ローカルな
バグは

ローカル

ローカル

⇔
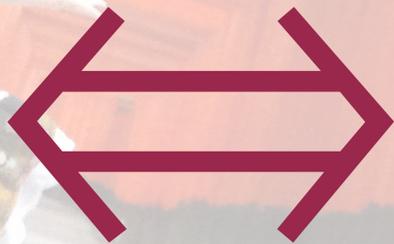
ローカル
⇔
グローバル

世界で勝ち抜くための

グローバル人材
の育成と活用

デロイト トーマツ コンサルティング ——（編）

どうにもならない

メモリーリーク

メモリ管理領域の破壊

グローバルな領域
（ヒープ）
のバグ
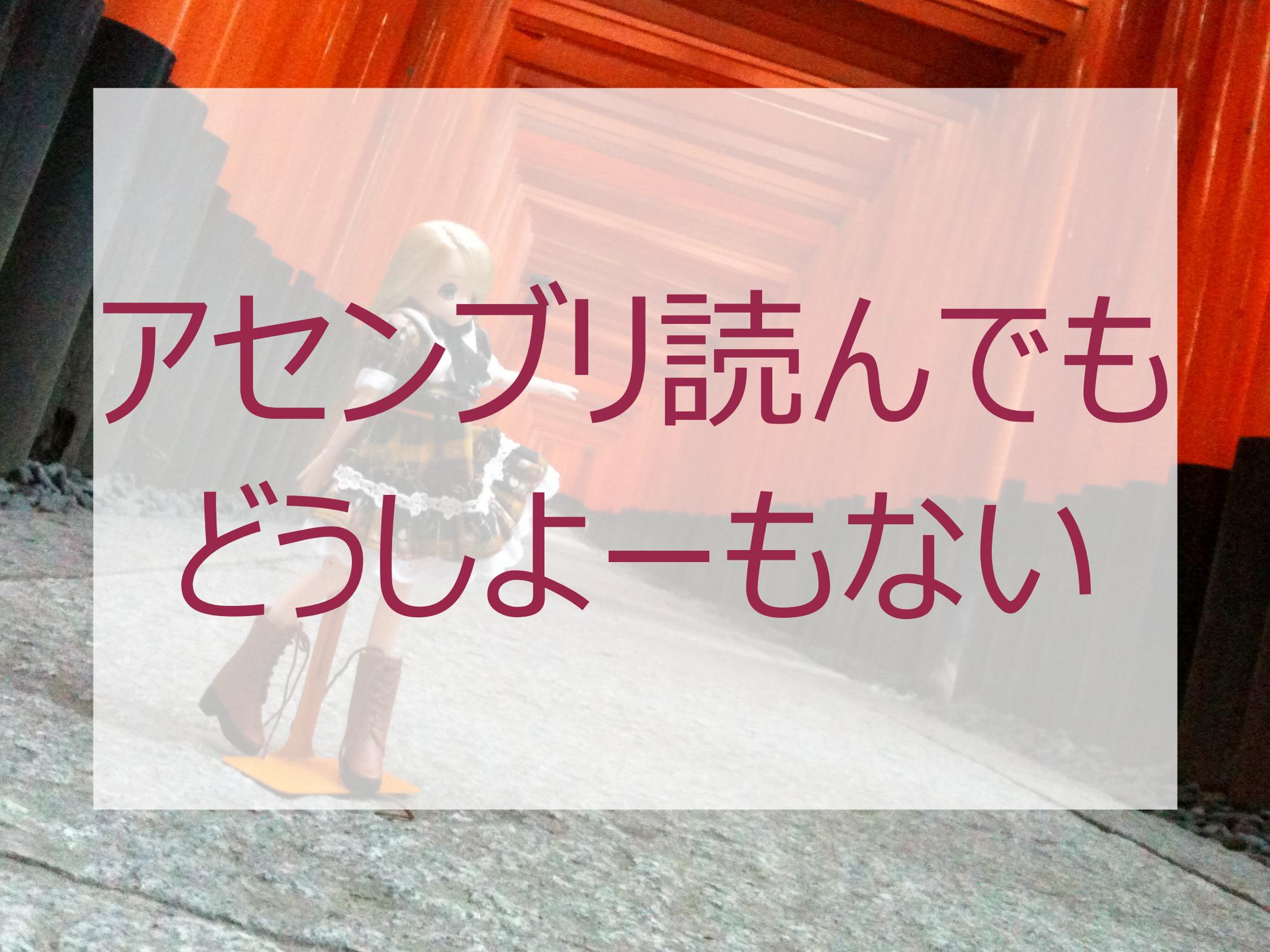
アセンブリ読んでも
どうしよーもない

とくに

cocos2d-x

てめェだよ
てめェー

ごとうきよはる さんは今どこに？

Aボタン おしてね。

スマートポインタ
使ってない

全手動

retain

release

例外安全性
：ZERO

RAII…？
何それ…？

どないすねん
（２度目）

そこで

ですよ

valgrind

以下

ヴァルちゃん

ヴァルちゃん
何できるの？

たとえば、

メモリリーク検出

メモリリーク検出
（場所付き）

解放済み領域
アクセス検出

解放済み領域
アクセス検出
（場所付き）

バッファオーバーラン検出

未初期化
メモリへの
アクセス検出

例

未初期化変数　アクセス

```c
int* b = (int*)malloc(1*sizeof(int));
if( b[0] ) {
    int i=0; /* nop */
}
free(b);
b[0] = 0;
```

未初期化変数を使った条件分岐

Conditional jump or move depends
on uninitialised value(s)

ソースコード上の位置

at 0x40066C: main (tes.cpp:7)

```
int* b = (int*)malloc(1*sizeof(int));
if( b[0] ) {
    int i=0; /* nop */
}
free(b);
b[0] = 0;
```

解放後変数へのアクセス

無効な変数へのアクセス

Invalid write of size 4
   at 0x400685: main (tes.cpp:11)

どこで開放されたか

Address 0x5a15090 is 0 bytes inside
a block of size 4 free'd
 by 0x400680: main (tes.cpp:10)

定期的に
ヴァルちゃんして
バグを潰そう♬

と、
言いたい
ところだが

奇跡の代償
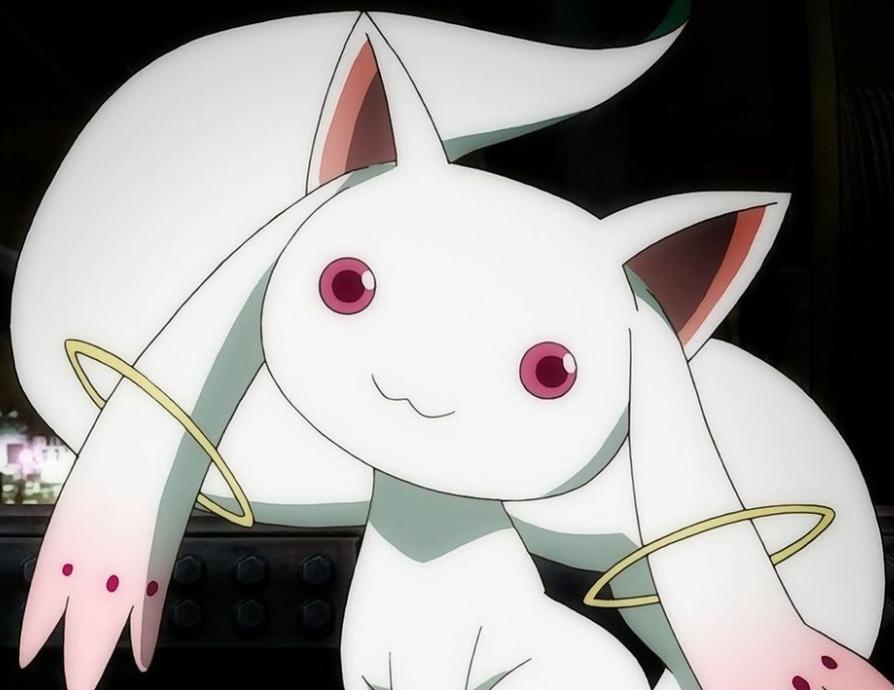
遅い

すごく
遅い
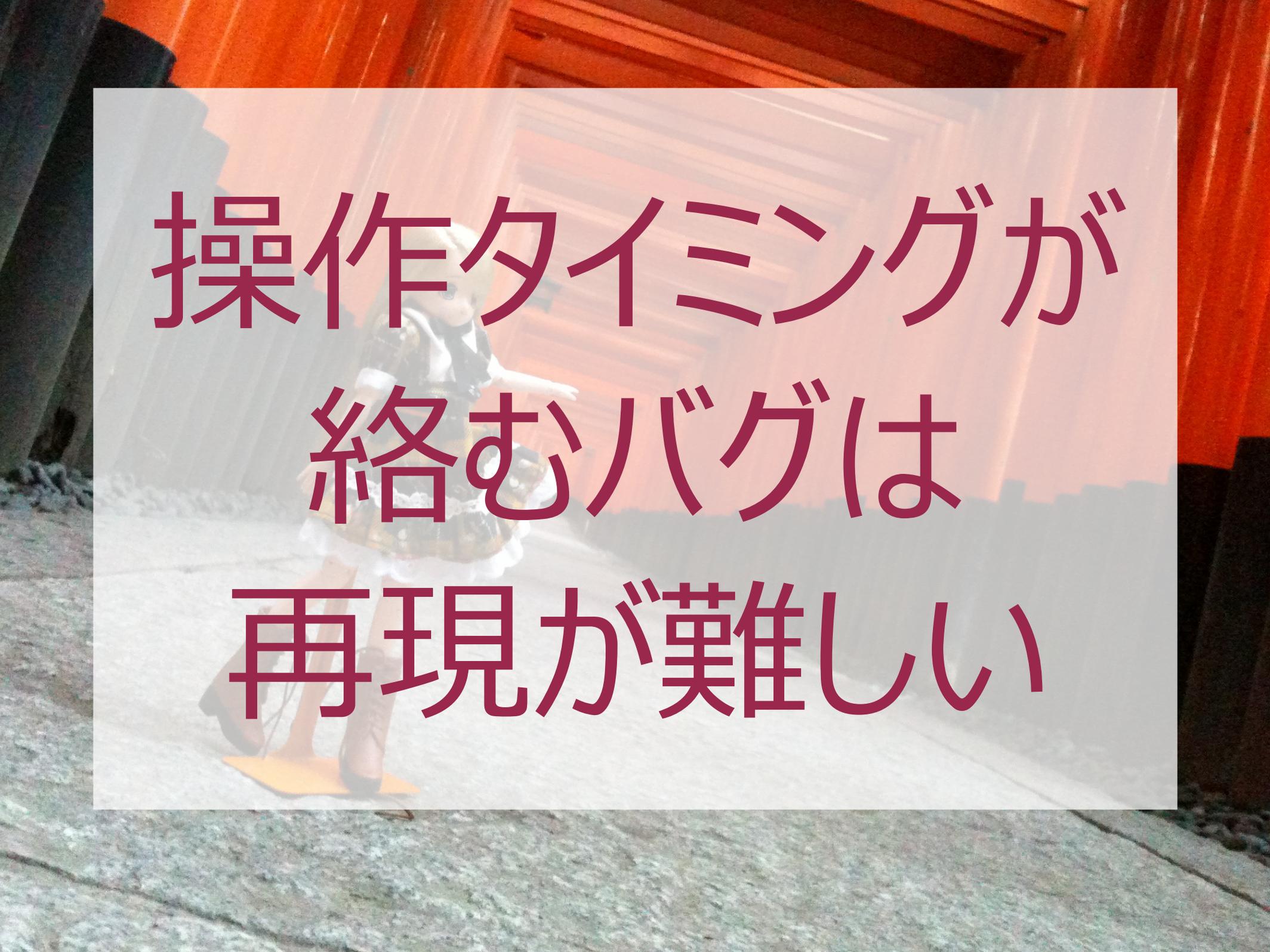
操作タイミングが
絡むバグは
再現が難しい
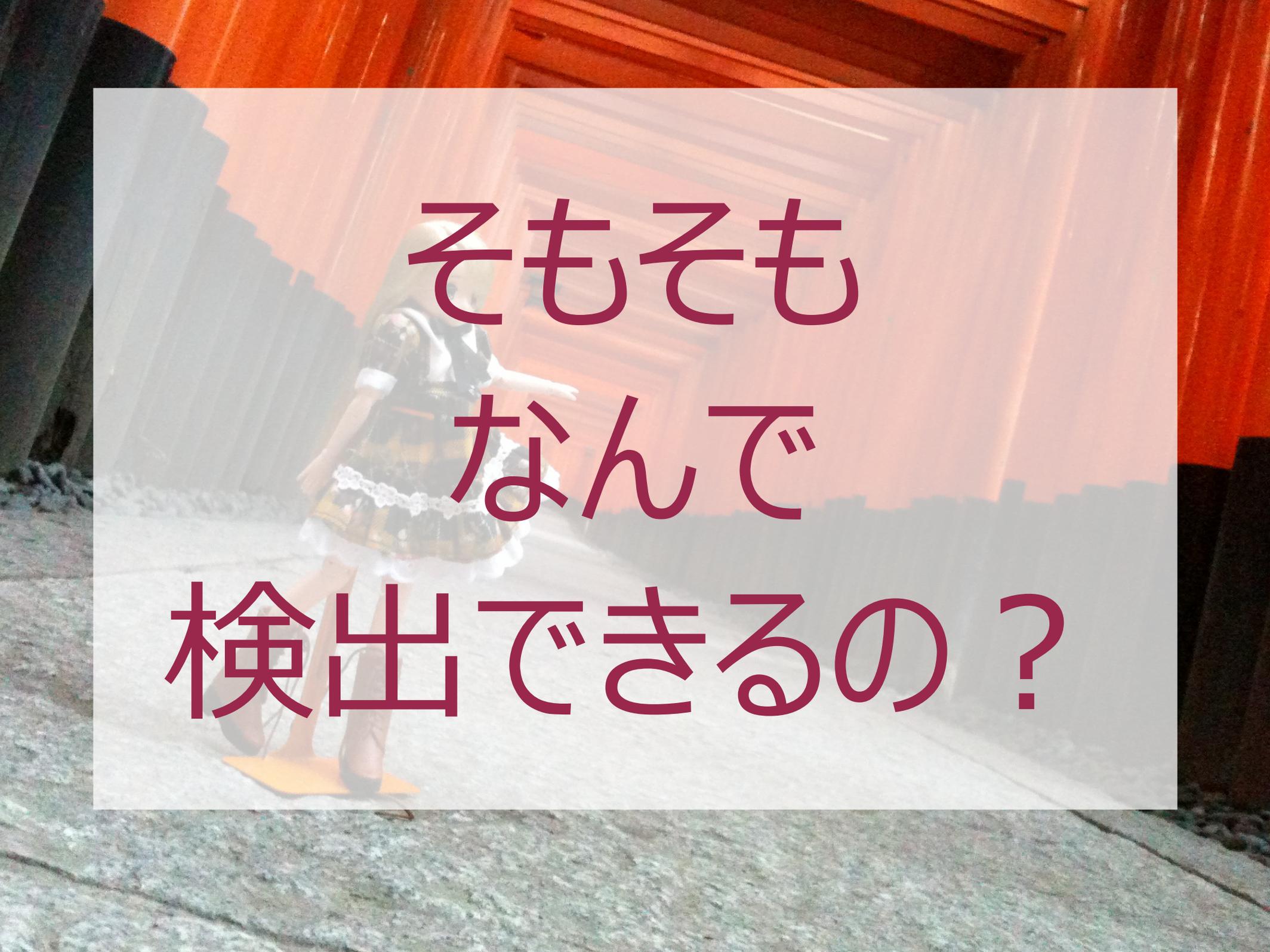
そもそも
なんで
検出できるの？

x86実行コード
↓
中間形式へ翻訳

全ての
メモリアクセスに
チェックコード挿入

遅くない
わけがない

もう一つの問題

誤爆

シングルトン

キャッシュ

メモリーリーク
として誤検出

そして

クソblob

はっきり言うと

グラボのドライバ

クソ**blob**内の
クソバグ検出で
埋め尽くされる
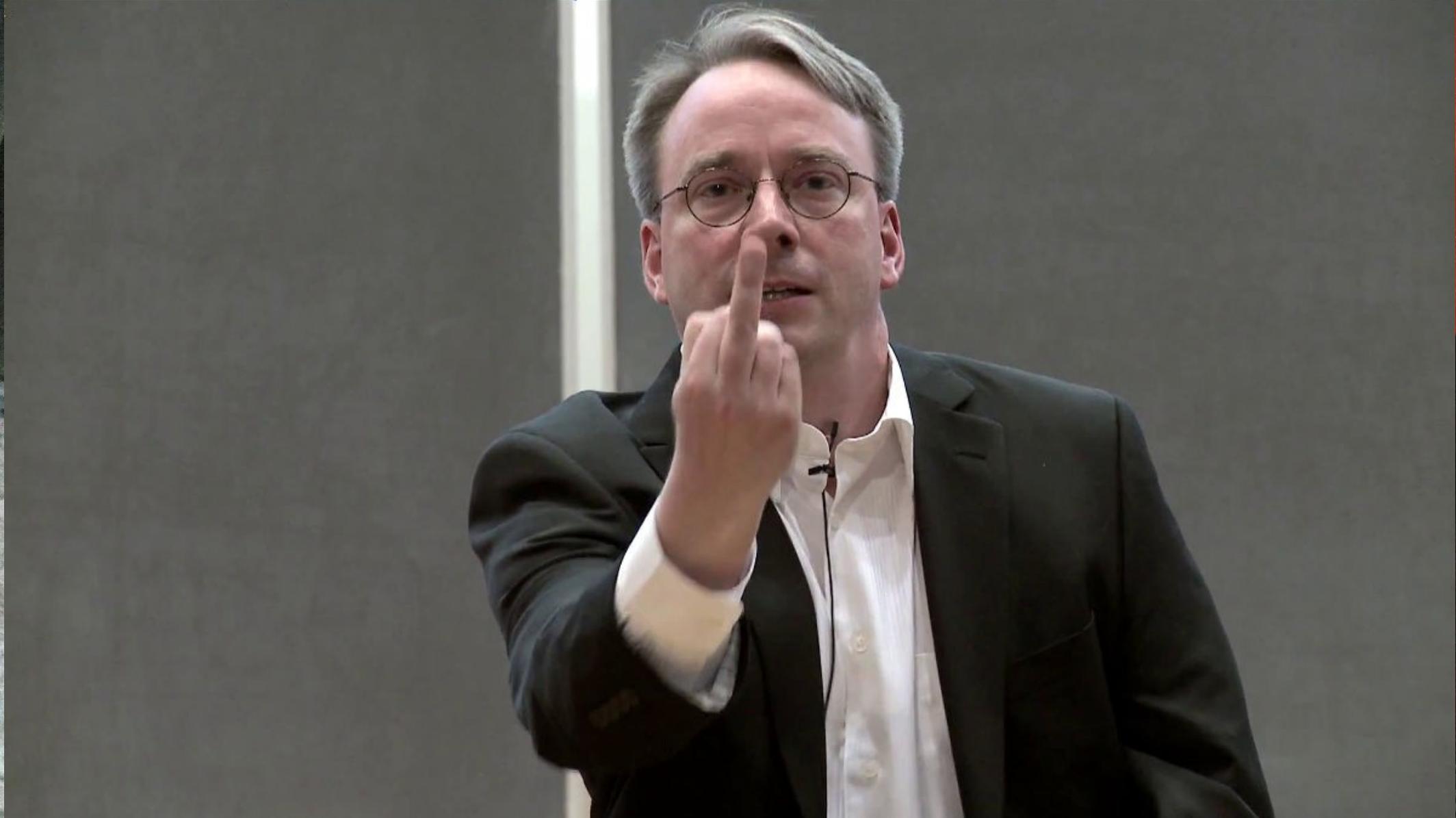
「無視」
機能はあるので

ひたすら
誤検出を
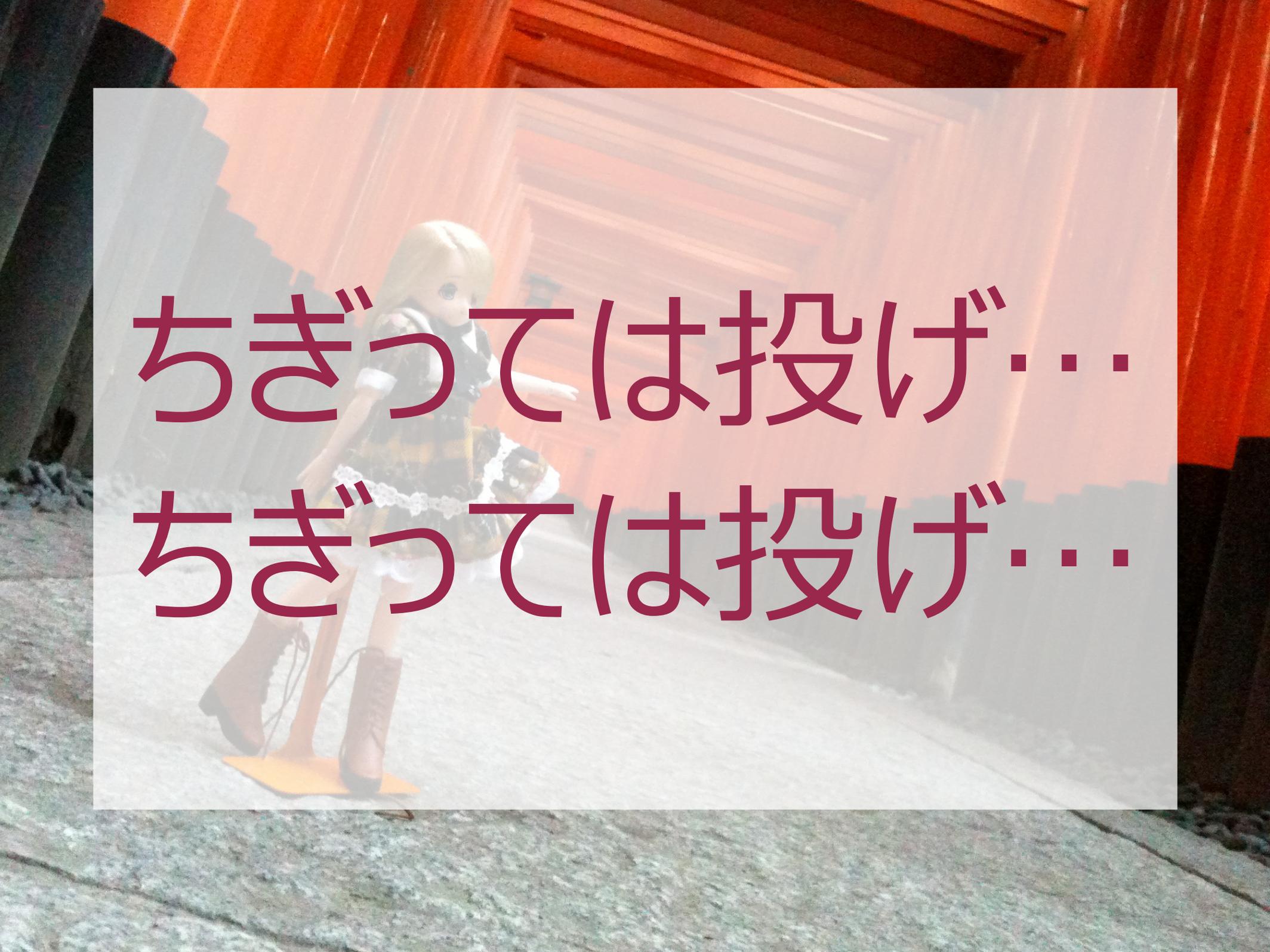
ちぎっては投げ…

ちぎっては投げ‥
ちぎっては投げ‥

出来上がった
無視ファイル

とほほ
もう実行時は
こりごりなん。